



国交省

運輸関係功労者表彰



▲阿津賀志山ビッグツリー (伊達郡国見町)

福島県

- 年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動

県ト協

- 第4回理事会
- 平成29年度各種助成事業執行状況
- 第2回広報・IT委員会を開催
- 「中小トラック運送業者のためのIT支援セミナー」を開催
- 第2回交付金運営委員会を開催

適正化

- 生産性向上セミナーを開催

陸災防

- 第53回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会を開催
- 平成29年度「第2回陸運災防指導員・分会事務局長会議」を開催

トピックス

- 安全運転センターが会員事業所を表彰

支部

- 県北支部が省エネ運転講習会を開催
- 会津支部が安全運転ドライバー研修会を開催
- いわき支部が安全運転研修会を開催

お知らせ

- 降積雪期における道路交通の安全確保の徹底について

県ト協

セーフティチャレンジ事業参加の事業所様へ! 当協会への申し込みも忘れずに!!

同事業は福島県交通対策協議会の主催事業ですが、本年7月1日から12月31日までの6ヶ月間で無事故・無違反にチャレンジしていただき、無事故・無違反達成グループには、抽選で特別賞が贈呈されるチャンスがあります。

この事業と連動して、当協会でも参加チーム単位としての無事故・無違反に対して、主催者の表彰洩れチームを対象に別途抽選会を開催し副賞を贈呈いたします。また、事業所単位での「事故防止コンクール事業所表彰」も行ないます。表彰は事業所の車両登録台数の半数以上の参加人数で特に優秀な事業所が対象となります。

同事業に参加しているが、当協会への申し込みがお済みでない事業所は是非申し込みを行ってください。

当協会への申込方法は交通安全協会から申込受付後に届くハガキ(会社名、氏名、チーム番号が記載)を当協会へFAX **(024-558-7731)** し、申し込みください。

CONTENTS

国	交	省	運輸関係功労者表彰	3
福	島	県	年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動	14
全	ト	協	平成29年度自家用燃料供給施設整備支援助成事業〔追加募集〕	7
県	ト	協	セーフティチャレンジ事業参加の事業所の皆様へ 当協会への申し込みも忘れずに	2
			第4回理事会	4
			平成29年度各種助成事業執行状況	6
			第2回広報・IT委員会を開催	7
			「中小トラック運送事業者のためのIT支援セミナー」を開催	7
			第2回交付金運営委員会を開催	7
			会員だより	8
			12月の行事予定	9
適	正	化	生産性向上セミナーを開催	10
支		部	県北支部が省エネ運転講習会を開催	11
			会津支部が安全運転ドライバー研修会を開催	11
			いわき支部が安全運転研修会を開催	11
協	同	組	ふくトラネットワーク協同組合 KIT情報	9
陸	災	防	技能講習等実施予定	5
			第53回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会を開催	12
			平成29年度「第2回陸運防災指導員・分会事務局長会議」を開催	12
			「フォークリフト運転業務従事者安全衛生教育講習」のご案内	13
			ロールボックスパレット安全作業研修会のご案内	13
お	知	ら	交通事故統計	9
せ			降積雪期における輸送の安全確保の徹底について	15
ト	ピ	ッ	安全運転センターが会員事業所を表彰	10
ク	ス			

国 交 省

運輸関係功労者表彰



平成29年度の運輸関係功労者表彰（東北運輸局長・福島運輸支局長）は11月1日(水)に福島市「ホテル福島グリーンパレス」で行なわれ、当協会関係者は東北運輸局長表彰9名、福島運輸支局長表彰18名並びに安全性優良事業所（Gマーク）への福島運輸支局長表彰として1事業所へ表彰状が授与された。

[東北運輸局長表彰]

[敬称略]

事業用自動車運転者	安達 仁（スナンエクスプレス(株)）	木目沢 幸男（常和運送(株)）
	高橋 文雄（あだち運送(株)）	松川 祐二（日本通運(株)）
	木原 俊高（(株)昭和運送店）	二瓶 俊一（第一貨物(株)）
	五十嵐 正廣（東北王子運送(株)）	花泉 嘉和（第一貨物(株)）
	佐藤 康浩（會津通運(株)）	

[福島運輸支局長表彰]

[敬称略]

功労者	古川 圭一（(株)郡山南部運輸）	吉田 健二（成田運輸(株)）
事業用自動車運転者	三浦 幸紀（福島運送(株)）	古川 一二（郡山宅配運輸(有)）
	大橋 喜栄（西濃運輸(株)）	安部 眞次（エービーカーゴ東日本(株)）
	野地 武則（西濃運輸(株)）	渡部 芳男（日本通運(株)）
	佐藤 明信（西濃運輸(株)）	芳賀 一幸（日本郵便輸送(株)）
	山岸 伯夫（(株)吉田運輸）	飯高 昌志郎（(株)丸東）
	菅野 誠司（郡山運送(株)）	鈴木 勝義（岡田陸運(株)）
	猪越 弘人（郡山運送(株)）	藤本 親（磐城通運(株)）
	佐藤 友則（郡山運送(株)）	円城寺 則幸（磐城通運(株)）
安全性優良事業所(Gマーク)	(有)さくら運輸 郡山営業所	



【運輸関係功労者】



【安全性優良事業所】

県ト協 第4回理事会

福島県トラック協会第4回理事会が11月11日(土)に郡山市「郡山ビューホテル」で理事23名、監事4名が出席し開催された。

○報告事項

- 1 中間貯蔵施設への除染廃棄物等の輸送対応について
- 2 平成29年度物流セミナー開催結果について
- 3 新標準貨物自動車運送約款(11月4日施行)に係る周知活動について
- 4 第49回全国トラックドライバー・コンテスト結果について
- 5 「トラックの日」関連事業について
 - ①平成29年度「トラックの森づくり事業」植樹会の概要について
 - ②「トラックの日」フェスタについて
- 6 東北運輸局長・福島運輸支局長表彰について

○議 題

- 1号議案 高校進路アドバイザーと福島県トラック協会との意見交換会について
- 2号議案 組織・財政検討委員会答申について
- 3号議案 入会会員及び退会会員について
- そ の 他
 - ①福島県トラック事業政治連盟懇親パーティーについて
 - ②今後の行事予定について
 - ③その他

【報告事項】

- 報告事項の1 中間貯蔵施設への除染廃棄物等の輸送対応について、これまでの経過、トラック協会の対応等を報告した。
- 報告事項の2 平成29年度物流セミナー開催結果について、9月27日(水)開催の同セミナーには192名(前年より46名増)が出席したことを報告した。
- 報告事項の3 新標準貨物自動車運送約款(11月4日施行)に係る周知活動について、会員事業者に対する県ト協、全ト協の対応並びに荷主関係団体への周知活動の内容を報告した。
- 報告事項の4 第49回全国トラック・ドライバーコンテスト結果について、福島県代表として出場した選手について結果を報告した。(今年度は入賞なし)
- 報告事項の5 「トラックの日」関連事業について
 - ①平成29年度「トラックの森づくり事業」植樹会の概要について、10月1日(日)開催の同事業には、相双支部より61名が参加しクロマツの苗木を400本植樹し

たことを報告した。

- ②「トラックの日」フェスタについて、10月14日(土)開催の同事業には、地元住民、関係者約2,000名が来場し成功裡に終了したことを報告した。

報告事項の6 東北運輸局長・福島運輸支局長表彰受賞者について、11月1日(水)に東北運輸局長・福島運輸支局長表彰が行われ、東北運輸局長受賞者9名、福島運輸支局長受賞者18名、安全性優良事業所表彰として1事業所が表彰されたことを報告した。

※「東北運輸局長・福島運輸支局長表彰」受賞者については3ページをご参照ください

【議 題】

1号議案 高校進路アドバイザーと福島県トラック協会との意見交換会について

若年層のトラック運送業界への就業促進に向けた取り組みとして、各地区駐在の高校進路アドバイザーと県ト協（役員中心）との意見交換会を下記日時で開催することを提案し可決された。

- ①県北地区 平成29年12月14日(木) 13時30分～15時

福島市「コラッセふくしま」

- ②県中地区 平成29年12月21日(木) 13時30分～15時

郡山市「郡山ビューホテルアネックス」

2号議案 組織・財政検討委員会答申について

平成30年は福島県トラック協会設立から70周年の節目に当たることから、「創立70周年記念式典並びに祝賀会」を10月に福島市（場所は未定）において開催することを提案し可決された。

3号議案 入会会員及び退会会員について

13社の入会、1社の退会が可決された。（承認後会員数1,195（賛助会員276含む））

そ の 他 「トラックの日」フェスタについて

平成30年度の「トラックの日」フェスタの開催場所及び開催日について、立地、駐車場問題、全天候対応可能な条件を満たす施設として、**郡山市「ビッグパレットふくしま」で平成30年9月29日(土)**に開催することを提案し可決された。

陸 災 防

技能講習等実施予定

【フォークリフト運転技能講習】

開催地		講 習 開 催 日		
		学 科	実 技	
郡 山 ^⑩ いわき ^⑪	1 月	30(火)	1: 10(水) ～ 12(金)	2: 16(火) ～ 18(木) 3: 23(火) ～ 25(木)
		26(金)	1: 10(水) ～ 12(金)	2: 16(火) ～ 18(木) 3: 23(火) ～ 25(木)

【フォークリフト運転業務従事者安全講習】

開催地	講 習 開 催 日
郡 山	23(火)
福 島	18(木)

※ 講習に関する詳細はホームページでご確認ください。 [Http://www.f-rikusai.org/](http://www.f-rikusai.org/)

陸災防 福島県支部

検索

県ト協

平成29年度各種助成事業執行状況

平成29年度の各種助成事業の平成29年11月22日現在の執行状況は下表のとおりとなっています。
助成事業によっては、助成金申請書の提出期限前であっても、予算額に達した場合は申請しても助成されませんので十分注意してください。

また、「執行状況」については、本表作成時点後の申請状況により変わりますので、助成事業の利用を予定している方は、早めの申請をされるようにしてください。

平成29年11月22日現在

区分	助成事業名	制度の概要	助成額等	限度額	執行状況(%)
交通安全対策事業費	1 適性診断	運転者適性診断(一般・初任・適齢)の受診料の助成	一般診断 2,300円/人 初任診断 2,000円/人 適齢診断 2,000円/人	一人年1回	64
	2 睡眠時無呼吸症候群検査(SAS)	睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング検査に要する経費(第一次検査、第二次検査、再検査)の助成	5,000円/人	一人年1回 1会員50人まで	70
	3 脳ドック受診	運転手の健康管理のため、脳ドック受診に対する助成	10,000円/人	1会員5名まで	15
	4 ドライバー研修	安全運転研修施設にドライバー等を派遣訓練経費(受講料)に対する助成	全ト協主催の一般研修 10,000円/人(上限) 全ト協主催の特別研修 Gマーク取得事業所 全額 その他 7割	1会員5名まで	55
	5 EMS	EMS機器の導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2(上限40,000円)	1会員15台上限	71
	6 ドライブレコーダー	ドライブレコーダーの導入に要した経費に対する助成	導入経費の1/2 運行管理連携 40,000円 (20,000円) 標準型 20,000円 (20,000円) 簡易型 10,000円 (10,000円) ※()書きの金額は国の補助金を受けた場合	1会員15台上限	54
	7 安全装置	後方視野確認支援装置、側方視野確認支援装置、呼吸吹込み式アルコールインターロック、IT点呼に使用する携帯型アルコール検知器の導入に要した経費に対する助成	27,000円/台	1会員15台上限	55
	8 フォークリフト技能講習受講料	陸災防の行うフォークリフト運転技能講習の受講経費	4,000円/人		54
	9 衝突被害軽減ブレーキ装着車	中型車を対象に、衝突被害軽減ブレーキ装着車の導入に要した経費に対する助成	100,000円/台	1会員3台上限	1
	10 中型・大型免許助成	従業員に準中型免許、中型免許、大型免許、けん引免許を指定教習所で取得させた費用に対する助成	準中型免許 40,000円/人(上限) 中型免許(二種は除く) 50,000円/人(上限) 大型免許(二種は除く) 100,000円/人(上限) けん引免許 50,000円/人(上限) 中型限定解除 30,000円/人(上限) 準中型限定解除 20,000円/人(上限)	1会員50万円上限	90
	11 定期健康診断	運転手の健康診断に対する助成	1,000円/人・年(上限)	車両台数上限	53
	12 SDカード	運転手のSDカード取得に対する助成	630円/人・年(上限)	車両台数上限	58
交通公害対策費	13 アイドリングストップ支援機器	アイドリングストップ支援機器の導入に要した経費に対する助成	電気式の毛布・マット・ベッド 15,000円/枚 エア・温水式ヒーター 60,000円/基 蓄冷式クーラー(リヤ・三菱) 50,000円/基 蓄冷式クーラー(ベッドルームクーラー・デンソー・UD) 50,000円/基 車載バッテリー式冷房装置 60,000円/基 ジェルマット 9,000円/枚	電気式の毛布・マット・ベッド 30枚 エア・温水式ヒーター 3基 蓄冷式クーラー・車載バッテリー式冷房装置 3基 ジェルマット 30枚	31
	14 ポスト新長期	ポスト新長期規制適合車を導入した経費	小型 新車 15,000円 中型 新車 30,000円 大型 新車 50,000円 ※CNG、ハイブリッドトラックについては要綱を参照のこと	15台	48
	15 エコタイヤ	エコタイヤ(転がり抵抗5%以上低減)を導入装着に要した経費	1,500円/本 車両数×1/3(四捨五入)×10本上限	150本	68
研修調査事業費	16 中小企業大学校	中小企業大学校の対象講座の受講料を受講した場合	受講料の2/3相当額		21
	17 グリーン経営認証	グリーン経営認証を取得又は更新した際の費用の一部を助成	新規取得 100,000円 更新 50,000円	1事業者1回/年 (支店・営業所の数にかかわらず年度内で1事業者につき取得・更新のどちらか1回)	70
	18 経営診断	経営診断に要した経費の一部に対する助成	経営診断費用の1/2 80,000円限度 (Gマーク取得者は 100,000円限度)		0
基金運営事業費	19 近代化基金利子補給	物流施設整備資金、車両(ポスト新長期含)、省エネ機器等購入に要する資金借入に対する利子補給	近代化基金融資 利率 0.3% ポスト新長期車 " 0.3% 低公害車・省エネ関連機器 " 0.3%	近代化基金 1会員 3千5百万 ポスト新長期 1会員 7千万 低公害車等 1会員 3千5百万	67
	20 信用保証料	信用保証協会の一般保証料に対する助成	信用保証料の額が 50,000円まで 全額 50,000円～ 50,000円に50,000円を超えた額の1/2を加えた額	上限 年度内 100,000円	26
	21 緊急制度資金信用保証	県制度資金等の保証料に対する助成	信用保証料の額が 100,000円まで 全額 100,000円～ 100,000円に100,000円を超えた額の1/2を加えた額	上限 年度内 200,000円	32
	22 緊急制度資金利子助成	県ト協の保証料助成を受けたものに対する借入利子の助成	支払利子利率の0.8%(3年間)		57
事業適正化	23 運行管理者講習	運行管理者講習(一般、基礎)の受講料の一部に対する助成	一般講習 1,000円/人・年 基礎講習 4,000円/人・年	一般講習は選任管理者のみ 基礎講習は車両台数の10%を上限(端数切上げ)	59

注1)「制度の概要」は、助成制度の概略を記載したもので、詳細は助成要領等で確認してください。

注2)本表は、会員を対象としたもので、Gマーク取得の非会員に対する助成措置は省略してあります。

注3)「執行状況」は、予算額に対する執行率を「%」で表示します。概ね90%を超えたときは「締切間近」と、また、予算額に達した場合は「終了」と表示します。

県ト協 第2回広報・IT委員会を開催

本年度の第2回広報・IT委員会が、11月9日(木)に委員6名のほかオブザーバーとしてIT支援セミナーの森高講師、全協ト経営改善事業部の星野部長2名が出席し、郡山市の県中研修センターにおいて行われた。

西條久義委員長のあいさつに続き、議事として、「広報PRに関する事業」においてホームページやトラックフェスタ等、「人材確保PR事業」において進路アドバイザーとの意見交換会等、「IT支援に関する事業」においては委員と森高講師との意見交換など、各委員による活発な協議が行われた。

県ト協 「中小トラック運送事業者のためのIT支援セミナー」を開催

当協会では初めての開催となりましたIT支援セミナーが、11月9日(木)に県内の各事業所から70名が参加し、郡山市の県中研修センターにおいて行われた。西條久義副会長の主催者あいさつに続き、近代経営システム研究所代表の森高 弘純 氏から、中小トラック事業者におけるIT導入成功事例や情報セキュリティ対策、物流IT化の最新情勢等が紹介された。



県ト協 第2回交付金運営委員会を開催

本年度の第2回交付金運営委員会が、11月29日(木)に委員5名が出席し郡山市の県中研修センターにおいて行われた。

佐藤信成委員長のあいさつに続き、議事として、「平成30年度に向けた運輸事業振興助成交付金特別会計に係る各種事業」や「平成30年度に向けた助成事業」等が取り上げられ、各委員による活発な協議が行われた。

全ト協 平成29年度自家用燃料供給施設整備支援助成事業（追加募集）

全日本トラック協会では、以下のとおり自家用燃料供給施設整備支援助成事業の追加募集を実施いたします。

詳細な内容等については、全日本トラック協会のホームページをご覧ください。

公募期間	平成29年12月1日(金)～12月28日(木)
全ト協最終受付日	平成30年1月10日(木)
交付決定通知予定日	平成30年1月31日(木)
公募枠	2,000万円
助成金額	新設：100万円、増設：30万円

会 員 だ よ り

新規入会事業所

支部	店・社名	代表者名	郵便番号	住 所	車両台数
県北	(株)ツカダロジ東北	塚田和夫	964-0869	二本松市大平山37	10
県北	川元建設(株)福島復興事務所	川元正和	960-1412	伊達郡川俣町字仲ノ内26-5	5
県中	東液サービス(株)郡山支店	上野 浩	969-1104	本宮市荒井字恵向60-12	11
県南	(株)グローバル創建	小室 敏	969-0203	西白河郡矢吹町北浦69-1	7
県南	(株)エスペランサ福島営業所	寺岡和俊	969-0403	岩瀬郡鏡石町小栗山169-1	8
県南	(株)カーズ	近藤勝人	961-8001	西白河郡西郷村大字羽太原ノ前2	5
県南	(有)あぶくま商事	高久紀夫	961-8091	西白河郡西郷村大字熊倉字折口原157番地2	5
県南	マイスター(株)	遠藤貴司	962-0402	須賀川市仁井田字万開152番地1	17
県南	JX金属高商(株)	松浦明一郎	969-0266	西白河郡矢吹町上敷面220	7
会津	(株)トーホク	田崎幸男	965-0022	会津若松市滝沢町5番51号トーホクビル302	6
相双	(株)修和富岡営業所	武田重政	979-1151	双葉郡富岡町大字本岡字清水前232	5
相双	(株)丸康総業	佐藤康徳	960-1721	相馬郡飯館村飯樋字前田31	5

退会会員事業所

支 部	店・社名
県南	穂積運送(有)

新賛助会員事業所

支部	店・社名	代表者名	郵便番号	住 所	車両台数
県中	(株)円谷運送店郡山東営業所	戸川晴信	963-0726	郡山市田村町下行合字田ノ保下1-21	12
いわき	東液サービス(株)平支店	上野 浩	970-8036	いわき市平谷川瀬字仲山町71番地の1ライズビル2F	7

賛助会員退会事業所

支 部	店・社名
いわき	東液流通(株)いわき支店

会員名簿変更

ページ	事業所名	変更事項	新	旧
11	采女運輸(株)	代表者 (支店・営業所代表者)	佐藤トヨ子	佐藤禎助
8,45	浪江貨物自動車(株)福島営業所	郵便番号 住所	960-2102 福島市荒井北2丁目3-16	960-1108 福島市成川字上谷地30
28	東白運送(有)	代表者 (支店・営業所代表者)	南條隆明	南條友成

12月の行事予定

日 程	行 事 内 容	開 催 場 所
12日(火)	第2回組織・財政検討委員会	郡山市「県中研修センター」
13日(水)	過労死等防止・健康起因事故防止セミナー	郡山市「県中研修センター」
14日(木)	福島県トラック協会と高校進路アドバイザーとの意見交換会	福島市「コラッセふくしま」
15日(金)	適正化・パトロール指導員・支部事務局長合同会議	福島市「福島研修センター」
19日(火)	第3回ダンプ・トラック部会役員会	郡山市「県中研修センター」
21日(木)	福島県トラック協会と高校進路アドバイザーとの意見交換会	郡山市「郡山ビューホテルアネックス」

協同組合 平成29年度ふくトラネットワーク協同組合 KIT情報

「Web KIT」 荷物（求車）・車両（求荷）の情報登録・成約件数

※表にはKIT外成立は含みません

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年同期比	増 減
荷物(求車)登録件数	361件	324件	196件	317件	380件	374件	488件						2,440件	2,169件	+271件
荷物(求車)成約件数	123件	92件	81件	86件	107件	104件	97件						690件	722件	-32件
成約率	34.1%	28.4%	41.3%	27.1%	28.2%	27.8%	19.9%						28.3%	33.3%	-5.0ポイント
車両(求荷)登録件数	218件	231件	276件	248件	194件	238件	188件						1,593件	1,302件	+291件
車両(求荷)成約件数	166件	157件	197件	155件	125件	154件	136件						1,090件	870件	+220件
成約率	76.1%	68.0%	71.4%	62.5%	64.4%	64.7%	72.3%						68.4%	66.8%	+1.6ポイント

お知らせ 交通事故統計

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況は平成28年に比べ平成29年では発生件数（+21）、死者数（増減なし）、傷者数（+25）となっている。交通規則を守るとは、社会人としての基本的な責務です。会員事業所におかれましても、プロドライバーとして、より一層の交通安全対策をお願いします。

交通ルールの遵守、思いやり運転等交通マナーアップ 交差点での安全確認の励行 速度の抑制

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況（10月末）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	平成28年 に比べて の増減数	11月	12月	年間合計
28年(概数)															
発生件数	9	5	11	7	7	5	5	7	8	8	72		6	10	88
死者数				1			1				2		1		4
傷者数	11	11	12	6	8	6	5	7	11	10	87		6	10	103
29年(概数)															
発生件数	8	14	13	10	7	3	12	11	7	8	93	+21			
死者数								1	1		2	0			
傷者数	9	19	18	11	8	5	13	12	8	9	112	+25			

トピックス 安全運転センターが会員事業所を表彰

自動車安全運転センター福島県事務所は優秀安全運転者事業所に対する表彰で当協会会員23事業所を表彰した。プラチナ賞と金賞は警察本部長・安全運転センター理事長連名表彰、銀賞と銅賞は警察本部交通部長・安全運転センター事務所長連名表彰となる。受賞事業所は次のとおり。

事業所名		
プラチナ賞 (3事業所)	南東北福山通運(株)福島支店	磐城通運(株) 小名浜支店小名浜製錬営業所
	名糖運輸(株)福島物流センター	
金賞 (4事業所)	(有)ムラタ	迫トラック(株)郡山営業所
	野口運輸(株)郡山営業所	クレハ運輸トラック(株)いわきセンター
銀賞 (9事業所)	塩釜陸運(株)福島営業所	(有)だいわ運送
	會津通運(株)郡山営業所	会津本郷貨物運送(株)
	日本通運(株)郡山支店	安立サービス(株)いわき営業所
	(株)ニヤクコーポレーション郡山事業所	磐城通運(株)小名浜支店
	関東運輸(株)福島営業所	
銅賞 (7事業所)	(株)田崎運送	大郷運輸(株)いわき営業所
	日本通運(株)福島支店	斎藤運輸工業(株)
	新潟運輸(株)郡山支店	日通相馬港運輸(株)
	若林運送(株)小名浜営業所	

適正化 生産性向上セミナーを開催

トラック運送業における生産性向上セミナーは取引環境の改善やトラックドライバーの労働時間の短縮等は喫緊の課題であることから、取引環境改善対策として、国土交通省の協力の下、全日本トラック協会との共催で11月14日(火)に146名が出席し、郡山市「県中研修センター」において開催した。

セミナーではトラック運送業における取引環境の改善や労働時間の短縮等に向けて①価格交渉のノウハウをまとめた運送事業者用ハンドブックと適正な取引を行うための注意点をまとめた運送委託者用リーフレット②トラック運送業の生産性向上方策、原価計算の活用③中継輸送の実施をまとめた手引書を国交省により作成しており、これらの活用について解説した。



支 部**県北支部が省エネ運転講習会を開催**

県北支部（右近八郎支部長）は省エネ運転講習会を11月11日(土)に福島市「福島日野自動車(株)福島支店」において開催し、支部会員事業所から21名が参加した。

講習内容は「交通エコロジー・モビリティ財団」が定めるエコドライブ講習カリキュラムに基づき、まずフリー走行を行い、次に省エネ運転講習座学の習得、最後に再度省燃費運転実車を行い、講習前燃費と講習後燃費をデータ解析し改善率を確認した。

参加者の改善率に多少の違いはあっても、全参加者が講習後の燃費向上が確認され、省エネ運転の「知識・方法」の重要性を再認識させることができた。

**支 部****会津支部が安全運転ドライバー研修会を開催**

会津支部（菅野 高志 支部長）は安全運転ドライバー研修会を11月18日(土)、25日(土)に会津若松市「会津自動車学校」において開催した。支部会員事業所から35名の運転者が参加し実技（実車）講習や運転適性診断を受診し、今後の運転業務に対する事故防止意識の向上を図った。

支 部**いわき支部が安全運転研修会を開催**

いわき支部（鈴木 健仁 支部長）は11月11日(土)いわき市「タイヘイドライバーズスクール」において、「超高齢化社会に生きるプロドライバーのあり方」をテーマに安全運転研修会を開催した。

この研修会は、今後迎える長高齢化社会に向けて、認知症とその予防法等について理解するとともに、各種計測機器等を用いた認知機能や身体機能の測定により、受講者自身に自覚を促し、高齢社会に適応できる運転者を育むことを目的としている。

研修は加齢による認知・身体機能の衰えについての座学、認知症予防体操、機器を用いた認知機能チェック、身体機能測定を行うなどの充実した内容となっており、本研修会には、支部会員から18事業所、23名が参加した。



【専門機器を使用し測定を行う受講者】

陸 災 防 第53回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会を開催

第53回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会が、11月6日(月)新潟市の「りゅーとぴあ」(新潟市民芸術文化会館)において、800名の会員および関係者の参加を得て、盛大に開催された。

I部大会式典は、主催者を代表して川合正矩会長から、「陸運業の死亡災害・死傷災害とも厳しい状況が続いている。また、過労死などの労災認定件数が全産業の中でも突出している。」「人手不足高齢化といった難しい問題にもしっかり向き合う。」と挨拶。続いて、安全衛生表彰と、平成29年度「安全衛生標語」入選作品が発表された。



【支部長と受賞者(佐久間さん)】

式典最後に、東京都支部長から大会宣言(案)が力強く読み上げられ、「荷役災害防止・交通労働災害防止取組の一層強化を図り、陸運業従事者の過労死等を撲滅し、命と健康を守る。経営環境は厳しいが、人命尊重の理念のもと、労働災害絶滅に向け取組、健康で安心して働ける職場環境を実現し、企業並びに業界の発展に寄与する」と宣言、満場一致で採択された。

II部は、厚生労働省労働基準局田中誠二安全衛生部長が、「労働安全衛生行政の動向」と題し講演、III部は、秋田海陸運送(株)風間さん中田さんが、「『フォークリフト荷役技能検定』取得で災害撲滅への取組」と題し事例発表を行った。

IV部は、生椿(はえつばき)の自然を守る会高野毅会長が、「人とトキのかけはしになる」と題し講演。最後に、次回第54回大会の開催地である富山県支部長から閉会の辞があり、来年の再会を期して今大会が締めくくられた。

※安全衛生表彰

進歩賞 (株)ユミタ運輸

功績賞

佐久間 幸一(陸災防県南分会)

高橋 亀一(陸災防福島県支部講師)

優良フォークリフト等運転者表彰

池田 香樹(日本梱包運輸倉庫(株)いわき営業所)・菊地 隆男(日通郡山運輸(株))

五十嵐 亮(いわき大王紙運輸(株))・片寄 淳一(いわき大王紙運輸(株))・横田 慎一(株)北海興業)



※安全衛生標語入選

荷役部門 (入賞) 『転落防護のヘルメット 荷役作業の 身だしなみ』

志賀 隆二(双葉運輸(株))

(佳作) 『荷積 荷卸 周り見て 高さも確認 安全作業』

比金 知彦(株)帝北ロジスティックス)

健康部門 (佳作) 『心の声 素直に感じて受けてみよう 悩みに寄り添うストレスチェック』

阿部 真希(岩代運送(株))

(佳作) 『疲れたら 心とからだに 深呼吸』

佐藤 尚之(株)帝北ロジスティックス)

陸 災 防 平成29年度「第2回陸運災防指導員・分会事務局長会議」を開催

平成29年度第2回陸運災防指導員・分会事務局長会議は、11月15日(水)、福島市において支部管内災防指導員・分会事務局長が出席し開催された。来賓として福島県労働局健康安全課近藤産業安全専門官より、道路貨物運送業における労働災害発生状況を踏まえた挨拶がされた。

議事に入り、29年度のこれまでの事業経過報告を行った後、「平成29年度年末・年始労働災害防止強調運動の取組、「陸上貨物運送事業労働災害防止規程」の変更施行についての周知等について、会議が行われた。



【挨拶する近藤産業安全専門官】

陸 災 防 『フォークリフト運転業務従事者安全衛生教育講習』のご案内

**皆さまの事業場では、
フォークリフト運転業務従事者に、安全衛生教育を実施していますか!**

事業者は、従業員に対し一定期間(概ね5年)ごとに教育を実施するよう努めなければならない。(厚労省基発1012第1号)

陸災防では、災害防止をめざし、『フォークリフト運転業務従事者』を対象に上記教育を下記の通り実施しております。労働災害防止のため、是非受講されますようご案内申し上げます。

会場及び講習日程: 【福島会場】平成30年1月18日(木) 午前9時から午後5時まで
福島県トラック協会 福島研修センター (福島市飯坂町平野)

【郡山会場】平成30年1月23日(火) 午前9時から午後5時まで
福島県トラック協会 県中研修センター (郡山市喜久田)

定員・受講料: 100名(先着順)・5,700円(テキスト代・消費税込)

内 容: 最近のフォークリフトの特徴 2時間・フォークリフトによる作業と安全 1時間
フォークリフトの点検と整備 1時間・災害事例及び関係法令 2時間 合計6時間

申込方法: 受講申込書(陸災防福島県支部のホームページからダウンロード)に受講料を添えて申し込み下さい。

陸災防(陸上貨物運送事業労働災害防止協会)福島県支部

問合せ先:024-558-9011 FAX:024-559-1161



陸 災 防 ロールボックスパレット安全作業研修会のご案内

“物流の効率化” “作業者の負担軽減”と、とても便利なロールボックスパレット(カゴ車)。間違った使い方により、下敷きや手足の負傷による労働災害が多く発生しています。

労働災害防止のため、是非受講されますようご案内申し上げます。

日 時: 平成30年1月25日(木) 午後1時00分～午後4時00分

場 所: 福島県トラック協会県中研修センター **定 員:** 200名(先着順) ★参加費無料

対 象 者: 経営者、安全管理者、安全衛生推進者、作業責任者、ドライバー等作業者、荷主様

内 容: ロールボックスとは。ロールボックスパレット起因による労働災害の実態と特徴。
ロールボックスパレットによる災害事例。ロールボックスパレットの安全作業のポイント

講 師: 陸災防本部 安全管理士

申込方法: 下記申込書を陸災防福島県支部あてFAXしてください。

陸災防(陸上貨物運送事業労働災害防止協会)福島県支部

問合せ先:024-558-9011 FAX:024-559-1161

修了証: 研修の受講者には、本研修を修了したことを証する書面を交付致します。

意外と危険がいっぱい



事業場名 _____
所在地 〒 _____
TEL () FAX () 担当者名 _____

受講番号	修了証番号	受講者氏名	性別	生年月日	役職名
			男・女	昭和・平成 年 月 日	
			男・女	昭和・平成 年 月 日	
			男・女	昭和・平成 年 月 日	

※「受講番号」・「修了者番号」欄は事務局にて記載します。

福島県

年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動

1 目的

毎年この時期には、夕暮れ時から夜間にかけて交通事故が多発し、特に高齢歩行者が被害者となる交通事故の増加が懸念される。また、高齢運転者による重大事故も発生していることから、県民一人一人が、交通安全意識を高め、交通ルールの遵守、正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、県民総ぐるみで交通事故の防止を図ることを目的とする。

2 期間

平成29年12月10日(日)から
平成30年1月7日(日)までの29日間

3 運動のスローガン

「ありがとう 早め点灯 思いやり」

年間スローガン

「みんながね ルール守れば ほら笑顔」

4 運動の重点

- (1) 高齢者の交通事故防止
- (2) 夕暮れ時や夜間の交通事故防止（特に、反射材用品等の着用の推進）
- (3) 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- (4) 飲酒運転の根絶

運動の重点1	高齢者の交通事故防止
内 容	(1)高齢者自身の交通安全意識の高揚を図り、交通事故に遭わない・起こさない行動を習慣付けましょう。 (2)高齢者等の交通弱者をみんなで保護する意識を醸成しましょう。 (3)夕暮れ時から夜間にかけて高齢歩行者等が被害となる重大事故が多発していることから、ドライバーは速度を落とし、原則上向きライト(ハイビーム)で早めの発見に努め、歩行者等は車のライトが見えたら無理な横断等はないようにしましょう。
運転者は	(1)高齢歩行者、電動車椅子利用者等を見かけたら、減速し安全を確認するなど、思いやりのある運転をしましょう。 (2)高齢運転者標識(高齢者マーク)や聴覚障がい者標識を表示している車両に対しては保護義務があることを理解し、思いやりを持って運転しましょう。 (3)夕暮れ時における自動車の前照灯の早めの点灯、原則上向きライト(ライトのこまめな上下切替え)に心掛け、夕暮れ時や夜間の歩行者や自転車等との衝突事故を防止しましょう。
運動の重点2	夕暮れ時や夜間の交通事故防止（特に、反射材用品等の着用の推進）
内 容	(1)「PM4(ピーエム・フォー)ライトオン運動」に取り組みしましょう。 【PM4(ピーエム・フォー)ライトオン運動】 1 午後4時を目安とした早めのライト点灯、原則上向きライト点灯(ライトのこまめな上下切替え)、歩行者等は反射材用品・懐中電灯等の活用により交通事故防止を図る運動 2 運動期間 平成29年11月1日から平成30年2月28日まで (2)夕暮れ時から夜間にかけて、高齢歩行者等が被害に遭う重大事故が多いことから、ドライバーは速度を落とし、上向きライト(ハイビーム)を基本にし、早めの発見に努めましょう。また、歩行者等は車のライトが見えたら、無理な横断はないことを徹底しましょう。 (3)夕暮れ時や夜間の歩行中・自転車乗用中は反射材用品等の着用を習慣付けましょう。 (4)朝・夕の路面凍結によるスリップ交通事故防止のため、路面の状態を確認し、慎重な運転を心掛けましょう。
運転者は	(1)視認性を高めるとともに、自分の車の存在を他者に知らせるためにも、夕暮れ時における自動車の前照灯は早めに点灯しましょう。 (2)夕暮れ時や夜間の運転の際は、道路横断中の歩行者等との衝突事故防止のため、原則上向きライト(ライトのこまめな上下切替え)及びスピードダウンを励行しましょう。 (3)ライトの照射距離・照射範囲に限界があること、これに伴って、歩行者等の発見が遅れることを認識し、昼間と同じ感覚で運転することがないよう注意して運転しましょう。 (4)オートライト装備車の場合は、スイッチを手動に切り替えて早めのライトの点灯に努めましょう。(駐車する際は、ライトの消し忘れに注意しましょう。)
運動の重点3	全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
内 容	(1)後部座席を含めた全ての座席でのシートベルトとチャイルドシートの正しい着用を徹底し、交通事故発生時における被害の防止・軽減を図りましょう。 (2)シートベルト着用率100%を目指し、交通安全意識の向上を図りましょう。
運転者は	(1)自らシートベルトを正しく着用するとともに、後部座席を含めた同乗者全員にシートベルトとチャイルドシートを正しく着用させましょう。 (2)発射の際は、後部座席を含め、同乗者全員がシートベルトを着用したのを確認してから発車しましょう。
運動の重点4	飲酒運転の根絶
内 容	(1)飲酒運転の悪質性・危険性、飲酒運転等に起因する交通事故の悲惨さを認識し、規範意識の確立を図り、飲酒運転等を根絶しましょう。 (2)飲酒を伴う各種行事や会合等には、車を持ち込まないようにしましょう。やむを得ず持ち込む場合は、予めハンドルキーパーを決めておくなど、飲酒運転を絶対にしないようにしましょう。 (3)飲酒運転を助長する行為(車両提供、酒類提供、車両同乗)は絶対にしないようにしましょう。
運転者及び自転車利用者は	(1)飲酒運転の悪質性・危険性、事故を起こしたときの責任の重大性を十分認識し、運転者としての責任を十分認識し、運転者としての責任を自覚しましょう。 (2)飲酒後、アルコールが体内で分解されるまで相当の時間が必要なことを認識し、飲酒運転を防止しましょう。 (3)自転車も「車両」であることを認識し、飲酒後は自転車に乗らないことを徹底しましょう。

お知らせ

降積雪期における輸送の安全確保の徹底について

会員各位におかれましては、これから本格的な降積雪期を迎える中、気象情報や道路における降雪状況を適時把握し、以下の対策を講じることにより、輸送の安全確保に万全を期してください。

- (1) 積雪・凍結等の気象及び道路状況により、早期にスタッドレスタイヤ及びタイヤチェーンを装着するよう徹底を図ること。なお、スタッドレスタイヤへ交換する際は、ホイール・ボルトの誤組防止、締付トルクの管理を確実に行うこと。
- (2) 点呼時において運行経路の道路情報、道路規制情報、気象情報に基づき、乗務員に対する適切な指示を行うこと。
- (3) 積雪・凍結時における要注意箇所の把握に努めること。
- (4) 気象状況が急変し、安全運行が確保できないおそれがある場合は、運行計画の変更等の適切な措置を講ずること。
- (5) 乗務員に対して、スリップの要因となる急発進、急加速、急制動、急ハンドルを行わないよう指導するとともに、道路状況、気象状況に応じた安全速度の遵守、車間距離の確保について指導を徹底すること。

近年は、12～1月に予想を超える大雪となるケースが増え、この時期からの適切な雪道対策が求められます。もし、交通事故やスリップ、大雪等でトラックが立ち往生してしまうと、周辺道路の大渋滞を招き、迂回路のない地域では大混乱を来します。降雪地域を運行する方は、タイヤチェーンを必ず携行するなど、雪道対策を万全に整えてから出発してください。なお、どか雪など突然の大雪が予想される地域を運行する方は、ダブルタイヤ用トリプル形チェーンの携行が必要です。

◎雪道対策として

全日本トラック協会作成の〔雪道対策マニュアル〕



全国各地の雪道情報については

おしえて！雪ナビ

検索



冬の備えは万全に

雪道での立ち往生はみんなの **大迷惑!!**



国道29号 鳥取県鳥取市
平成29年1月23日



松江道 島根県雲南市
平成29年1月23日

**大型車のスリップ・立ち往生をきっかけに、
長時間の通行止めが発生しています。
冬用タイヤへの交換・早めのチェーン装着を
よろしくお願いします。**

チェーンは
早めに
巻かんかい。



チェーン巻いたん員

標高差の大きい峠では、麓（ふもと）は雨でも峠は雪です!

急勾配 積雪時、すべり止めなしでは、**登れません!**
チェーンの携行をお願いします。



麓

山崎IC付近(箱根町湯本)



峠

箱根峠中腹地点(箱根町箱根)

※撮影時刻は2地点とも平成28年11月24日 朝7時頃

国土交通省 道路局/雪害対策技術センター



トラック広報 わだち12月号 (通巻443号)

平成29年12月1日発行 (毎月1回1日)
編集発行 公益社団法人福島県トラック協会
〒960-0231 福島市飯坂町平野字若狭小屋32
TEL 024-558-7755(代) FAX 024-558-7731
H.P <http://fukutora.lat37n.com/>

